

平成 30 年度 第 1 回長野市総合計画審議会 会議録

日 時：平成 30 年 4 月 25 日（水） 午後 2 時から

場 所：講堂（第二庁舎 10 階）

出席者：委 員/ 三浦会長、有澤委員、池田委員、碓井委員、金井委員、白石委員、滝沢委員、藤森委員、堀江委員、本間委員、増山委員、柳沢委員、山浦委員
長野市/ 倉石総務部長、西島企画政策部長、清水財政部長、増田地域・市民生活部長、竹内保健福祉部長、北原こども未来部長、井上環境部長、高橋商工観光部長、倉島文化スポーツ振興部長、横地農林部長、金井建設部長、羽片都市整備部長、上杉会計局長、松本教育次長（行政）、永井教育次長（教育）、戸谷上下水道局長、根岸消防局長、島田危機管理防災監
事務局/（企画課） 日台課長、瀧澤主幹、佐久間補佐、宮坂係長、山口主査、酒井主査、白澤主査、小林（清）主査、小林（桜）主事
（人口増推進課）長谷部課長、関谷補佐、永岩主査、飛澤主査

1 開会

（事務局）

定刻になりましたので、これより長野市総合計画審議会を開会いたします。
企画課の佐久間です。よろしくお願いいたします。

本日の資料は、事前にお送りいたしました、次第、資料 1 の「平成 30 年度版実施計画」、資料 2-1 の「長野市の将来人口推計」、資料 2-2 の「総合戦略 平成 30 年度アクションプラン」と、資料 3 の「幸せ実感都市『ながの』のデザインを使用している主な広報媒体等」です。

本日は園原副会長、上野委員、川北委員、塚原委員、寺内委員、山口委員から欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。それでは三浦会長からごあいさつをお願いします。

2 会長あいさつ

（三浦会長）

皆さんこんにちは。

今回は、第五次総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、それぞれの、平成 30 年度の実施計画やアクションプランについてご審議いただくこととなります。

今まで皆さんにご審議いただいたことの報告になると思いますので、今までの審議内容を踏まえながらよろしくお願ひいたします。

3 議事

(事務局)

それでは、審議に移らせていただきますが、議長につきましては、三浦会長に願ひします。

(三浦会長)

それでは、議事に入ります。

議事の(1)の平成30年度版第五次長野市総合計画実施計画について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

企画課の日台です。よろしくお願ひいたします。全体の構成については平成29年度版と変わっていませんが、実施計画の概要、特に計画推進重点テーマに関する主要事業について説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

第五次総合計画前期基本計画期間における2度目の実施計画となりますが、今回の平成30年度版では、392の主要事業が掲載されているとのこととす。

構成や作り込みは昨年度と同様とのこととすので大きな問題はないと思ひますが、意見や感想などありましたらお聞きたいのてすが、いかがでしょう。

ご意見等がないようとすので、本日は説明を了解したということとす、次の議事に移らせていただきます。議事(2)てすが、まち・ひと・しごと創生総合戦略のアクションプランについて事務局から説明してください。

(事務局)

人口増推進課の長谷部てす。

長野市の将来人口推計と、まち・ひと・しごと創生総合戦略のアクションプランにつ

いて説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

平成 30 年度のアクションプランには 159 の事業が掲載されていますが、本日はその一部について具体的にご説明いただきました。

また、国立社会保障・人口問題研究所から公表された新しい推計によると、社会増が若干良い方向に向かっているとの説明をいただきました。

ご意見等ありましたらお願いします。

(金井委員)

うまくいっているもの、いっていないものに対して、施策の変更をしていかないといけないので、スピード感を持って対応していただきたいと思います。

(事務局)

我々もそのように考えており、対応してまいりたいと思います。

(三浦会長)

3 ページのプログラミングコンテストについて、新しいことをしようとする指導者の問題などが出てくるとはと思いますが、人員や体制は大丈夫でしょうか。

(西山商工労働課課長補佐)

詳細や進捗状況については今後ご説明したいと思います。

(三浦会長)

ありがとうございました。

他にご意見等ないようですので、議事(3)の、「幸せ実感都市『ながの』」のデザインの活用状況について事務局から説明してください。

(事務局)

「幸せ実感都市『ながの』」のデザインの活用状況と今後の予定について説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(金井委員)

前回も申しましたが、何年もかけて審議してきた上で「幸せ実感都市『ながの』」をスローガンと決めましたが、信濃毎日新聞の一面にも掲載された、オリンピックの応援バナーはご縁マークでした。なぜ「幸せ実感都市『ながの』」ではないのか、非常に気になります。パラリンピックのときもそうでした。長野駅前にもずっとご縁マークがあります。「幸せ実感都市『ながの』」を合言葉にしているにも関わらず、先ほどご説明いただいた活用状況によると、1年経ってやっと「変更している」という報告でした。

庁舎内を見てみても、至る所にご縁マークの小旗が置いてあります。我々の思いはどうなっているのか、疑問に思います。なぜ統一しないのか、またスピードがなく、本当に「幸せ実感都市」を実現できるのかという気がしています。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。市民に向けてアピールすべく動いておりますが、ご指摘のありましたご縁マークについては、長野市のシティプロモーションのロゴマークとして先に使用しているものです。「幸せ実感都市『ながの』」とご縁マークの2つを併用することについて、ご理解いただきたいと思います。

(滝沢委員)

外に向けての「ながのご縁を～信都・長野市」と、市民に向けての「幸せ実感都市『ながの』」というように、整理したほうがいいのではないのでしょうか。

(三浦会長)

どう使い分けるか、日ごろから考えながら長野をプロモートする活動をしていくべきだと思います。

(西島企画政策部長)

今までにシティプロモーションで使用していたご縁マークや、健康をアピールするサキベジ、ハッピーかみんぐなど、様々なキャッチフレーズがあります。それらを廃止して一つにまとめるということで「幸せ実感都市『ながの』」のフレーズを作ったのではありません。総合計画というのは最上位計画なので、長野市のまちづくりの一番上にあるのは事実ですが、今後もそれぞれの分野にふさわしい専門的なキャッチフレーズを使っていきたいと思います。無秩序に乱立しているわけではなく、「幸せ実感都市『なが

の』)のための手段としてそれぞれのキャッチフレーズがあり、「幸せ実感都市『ながの』」はそれらを束ねたもののご理解いただきたいと思います。

(三浦会長)

適材適所で使っていくのが望ましいと思います。

(白石委員)

重点テーマを3つ設けて、横断的な取組で実現を図っていくというのが基本的な考え方だと思いますが、ここが中心となって重点テーマの実現を図っていくという展開が、外から見てもよくわかるような組織改革をしたほうがいいのではないのでしょうか。

(倉石総務部長)

重点テーマに沿ったわかりやすい組織ができればいいのかもしれませんが、既存の組織を最大限活用しながら実現するため、今年度新たに市長公室を設置しました。市長公室により、既存の縦割組織に横串をさして、第五次総合計画の重点テーマの実現に向け部局横断的に取り組むものです。

(本間委員)

政策調整・シティプロモーションチームを設置したということですが、具体的にどのようなメンバーで、こういった取組をしていくのでしょうか。

(西島企画政策部長)

メンバーは現在室長を含め4人で、市の職員で構成していますが、今後必要があれば専門家も加えていきたいと考えています。市役所では、観光、農産物、移住をはじめ様々なプロモーション活動を行っていますが、市長が率先して関わって直接発信し、市長が自ら横串をさすことで、長野市としての統一的なプロモーションにすることを目指しています。市長公室では、プロモーションと部局横断的取組の推進を行っています。

(三浦会長)

ありがとうございました。それではこれで本日の審議を終了します。

4 閉会

(事務局)

長時間お疲れ様でした。

事務局から次回の日程について申し上げます。次回は8月下旬頃を予定しています。詳しい日程は未定ですので、できるだけ早くご案内させていただきます。

では、以上をもちまして、閉会いたします。ありがとうございました。